

2023年8月12日に期限切れになるSWGユーザIDの包括SAML証明書

内容

[はじめに](#)

[概要](#)

[証明書の更新](#)

はじめに

このドキュメントでは、SWGユーザIDのUmbrella SAML証明書の有効期限について説明します。

概要

SWGユーザIDに使用されるUmbrella SAML証明書は、2023年8月12日の06:44:04(UTC)に有効期限が切れます。この証明書は2023年7月12日に更新され、利用可能になります。これにより、8月12日までの間、更新されたUmbrella SAML証明書でアイデンティティプロバイダー(IdP)を更新できます。

証明書の更新

証明書の更新は、SAMLユーザ認証の失敗と、これらのユーザのインターネットアクセスの喪失を回避するために不可欠です。この最初の連絡は、この予定されているイベントをユーザに知らせること、およびIDプロバイダーとの証明書更新タスクを計画およびスケジュールする時間を提供することを目的としています。証明書が更新され、使用可能になると、確認の更新がさらに発行されます。

これは年間作業ですが、UmbrellaメタデータURLは前年と変わりません。このため、手動のインポートプロセスを使用するのではなく、メタデータURLを使用して更新された証明書を自動的に取得することをお勧めします。証明書が更新されると、メタデータURLを変更せずにメタデータが更新されます。このアプローチは、証明書利用者メタデータURLを監視し、証明書利用者メタデータが新しい証明書で更新されたときに自動的に更新できる、ADFSやPing IdentityなどのIDプロバイダーをサポートします。

更新オプションの詳細については、<https://docs.umbrella.com/umbrella-user-guide/docs/saml-certificate-renewal-options>を参照してください。



注：一部のアイデンティティプロバイダーは、SAML要求シグニチャの検証を実行しないため、新しい証明書を必要としません。不明な場合は、IDプロバイダーのベンダーに確認を依頼してください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にサポート窓口までお問い合わせください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。